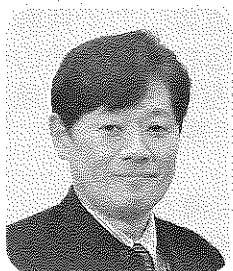




BIBLE MESSAGE



主任牧師 神戸 博央

あなたは笑っていますか？

毎年、年末になるとM1グランプリという漫才の祭典がTV放映されます。一年の笑いの総決算のようなプログラムで、単純に面白いので、私もだいたい見えています。

しかし、よく観察してみると笑いには色々な種類があることが分かります。人を馬鹿にしたり嘲ったりするようなあまりテイストの良くないような笑いから、日常の中に散りばめられている可笑しさに気付かせてくれるような笑い、自分たちの愚かさを笑うことで、私たちに解放するかのような笑いまで多種多様です。一言で笑いと言っても奥が深い。一般的に笑うと健康にいいとか、積極的に笑う機会を持ちましょうというようなお勧めまで聞かれるようになってから久しく、今や笑いはブームを乗り越えて文化にまでなっていると云えます。

聖書は笑いについて何か語っているのでしょうか。実は、笑いという言葉は、もちろんありますが、嘲笑などが多く、驚いたことに、キリストが笑われたという直接的な表現はありません。イエスは涙を流された、という表現はあるのですが、笑いについてはない。するとキリストは真面目な方で、苦しみを経験された方だから笑わなかったのでしょうか。

私もその視点で、聖書はもちろん、ちょっと調べてみました。すると、イエス様が笑わなかったかということ、どうもそうでもなさそうだと多くの人が考えていることが分かってきました。実はこのことは、「キリスト教と笑い」という、宮田光雄という方が著した真面目な本やインターネットで検索できる

大学の紀要などのテーマになるなど深いもので、一部、神学的な議論にすらなっていました。歴史的には、教会が笑いに関して否定的にとらえている時代もありましたが、宗教改革以降で

は再評価されているというのが実情のようで、この笑いをどうとらえるかでその人の信仰理解すら分かるかのような状況でもあります。

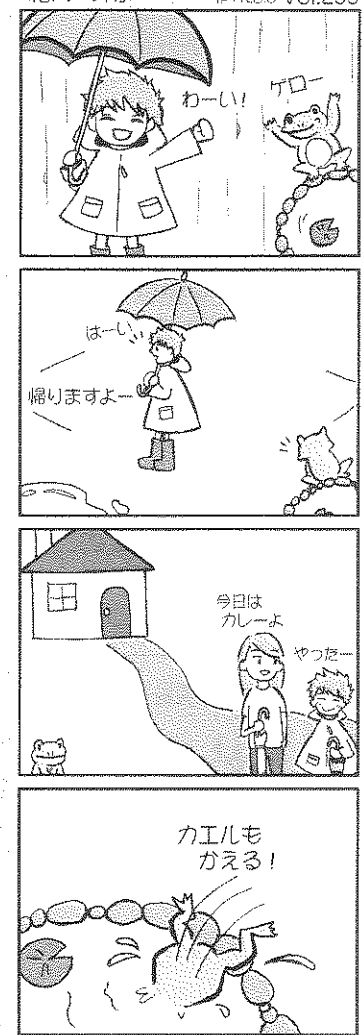
実は、個人的にも、イエス様が笑ったと思われる箇所はいくつかあります。その中の一つは、ザアカイの回心の場面です。ルカの福音書19章に出てくるこの話は、金持ちではあったが、孤独な生活をしてきたザアカイに、キリストが目を留め、友となられ、救いをもたらすという話なのですが、そこで受け入れられた彼は「主よ、ご覧下さい。私は財産の半分を貧しい人たちに施します。だれからか脅し取った物があれば、四倍にして返します。」と思わず告白します。イエス様は「今日、救いがこの家に来ました。この人もアブラハムの子なのですから。人の子は、失われた者を捜して救うために来たのです。」と語られるのですが、これらの言葉は、その直前に人々が「あの人は罪人のところに行って客となられた。」と語っていたことに対比されていたことが分かります。皆が「罪人」と揶揄していた人が、回心して、金銭の束縛から解放される。そして、イエス様が彼をアブラハムの子孫、すなわち、彼こそ選ばれた神の民だと語られたのです。この時に、イエス様は、難しい顔をしていたと思われるのでしょうか？私は微笑んで話されたのではないかと感じています。

聖書は、人が救われることに関して、救いの喜びが天にあるという表現もします。喜びですから、当然そこには、天使の笑顔も想像できます。信仰生活に笑顔はつきものだと思うのです。

そういえば、私たちの教会の人たちもよく笑います。人生の大きな試練を経験する時にも、神様の永遠の守りがあることを知っている人たちにはユーモアがあり、どこか明るいものなのです。あなたも教会に来て、一緒に笑ってみませんか？

4ちゃん / 1ちゃん

〈恵みの雨〉 画・MMA 作・NBC vol.255



日曜日は礼拝へどうぞ

- ◆サンライズサービス 7:15 ~ 8:00
- ◆礼拝 10:30 ~ 12:00
- ◆教会学校・中高科 8:45 ~ 9:45

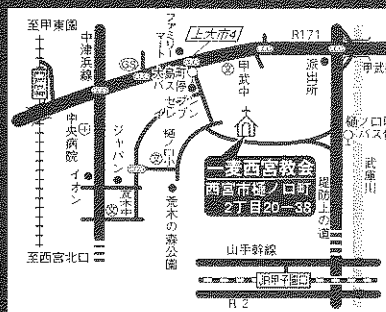
●詳しくは当教会までお問い合わせ下さい。(0798-20-9664)

祈 禱 会

- ◆祈 禱 会 毎週水曜 19:30 ~ 20:30

● 礼拝ライブ配信

教会ホームページ、礼拝ライブ放送から視聴できます。もしくは YouTube 一麦西宮教会 で検索してください。



教会へのアクセス

- 阪急今津線「門戸厄神」又は「甲東園」駅から東へ歩いて20分
- 阪急西宮北口(南出口)から阪急バス50系統乗車、JR甲子園口(北出口)経由で、大島町バス停下車、東へ徒歩2分
- 毎週日曜日、当教会送迎車運行 朝9時50分、阪急西宮北口駅北改札出て東(アクト側)のロータリー発。



(裏面もお読み下さい。)